



2019年9月17日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円では上昇、対米ドルでは下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。

米中貿易摩擦に関しては、米中双方が歩み寄りの姿勢を示したことでリスク選好の動きから円安が進みました。

一方、ブラジル国内では、税制改革をめぐってマルコス・シントラ国税庁長官が政府との意見の相違から解任されました。税制改革で中心的な役割を担ってきた同氏が解任されたことで、税制改革に対する不透明感が強まったことから、ブラジル・レアルは対米ドルで下落しました。

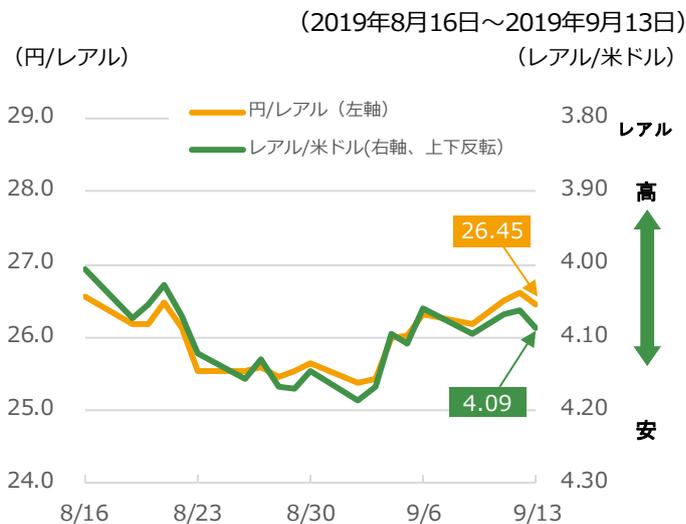
経済指標に関しては、7月の小売売上高や経済活動指数などが発表されました。小売売上高が市場予想を大幅に上回る上昇となった一方、経済活動指数は予想以上の下落となりました。

今週の見通し

今週は各種インフレ率などの経済活動指標の発表が予定されています。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されており、市場では0.5%ポイントの利下げが予想されています。

年金改革法案の成立が確実視される中、市場の注目は税制改革に向かいつつあります。税制改革に対する期待がはく落した際には、失望感からブラジル・レアルが売られる可能性もあるため、動向を注視していきたいと思えます。

ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。